

聖徳太子が建立せし六角堂。

この地で受け継がれてきた、池坊のいけばな。

そこに宿るのは、太子が説いた“和の精神”に根差す
他を生かしてともに生きる心。



和と美

聖徳太子千四百年
大遠忌記念

いけばなの根源

池坊展

4月20日[水]—25日[月] 仙台三越 本館7階ホール

一次展 20日[水]・21日[木]、二次展 22日[金]・23日[土]、三次展 24日[日]・25日[月]

入場時間=午前10時～午後7時(午後7時30分閉場)※21日[木]・23日[土]・最終日25日[月]は午後4時30分まで(午後5時閉場)

主催=一般財団法人 池坊華道会 後援=宮城県、仙台市 入場料=1,000円【税込】 高校生以下無料

※エムアイカード、エムアイ友の会カード、三越伊勢丹ホールディングス株主様カード、
障害者手帳のご提示で、ご本人様、ご同伴1名様まで無料で入場いただけます。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展覧時間の短縮や入場制限などの対策を
講じる場合がございます。池坊WEBサイト(<https://www.ikenobo.jp/>)または、
仙台三越のホームページにて、ご来場前にご確認ください。



MITSUKOSHI
仙台 千980-8543 仙台市青葉区一番町4-8-15
TEL/022-225-7111(大代表)
<http://www.mitsukoshi.co.jp/sendai/>

和 と 美

聖徳太子千四百年
大遠忌記念

紫雲山頂法寺 六角堂。聖徳太子が創建したこの寺では、
代々の住職は朝夕仏前に花を手向け、
それが時代を経ていけばなとなりました。

六角堂は古来、多くの人々の信仰を集め、京都の真ん中に位置するだけでなく、
人々の心の中心にありました。日々の暮らしの中で目にしたであろう
六角堂のいけばなは、太子が説いた`和の精神`を内包し、
特に戦乱の世にあっては人々の心の支えとなったことでしょう。

この`和の精神`は「他を生かしてともに生きる」という、
多様性を尊ぶ池坊いけばなのあり方を形作りました。
一つの作品の中に、長短・高低・大小さまざまな草木が
色とりどりに調和するさまは、まさに太子の教えである和が、
美として結実したものと言えます。



先人たちが受け継ぎ、磨き上げてきた和と美のこころ。
今に伝わる技と心をお楽しみください。

本年は、いけばな発祥の地 六角堂を創建された聖徳太子の千四百年遠忌の年にあたり、
華道家元池坊では 2021年11月から2022年10月を大遠忌期間とし、法要や関連行事を行って
おります。

春の花材を用いた、延べ約250作もの 彩り豊かな作品を展示。

「和と美」をテーマに、華道家元四十五世 池坊専永、
次期家元 池坊専好の大作展示をはじめ、
東北地区で活躍する池坊の華道家による約250作の
いけばな作品を展示します。

いけばなと聖徳太子

六角堂に伝わる聖徳太子関係の資料や、
いけばなと仏教を繋ぐ「三具足」を展示します。



新企画 いけばな植物園

植物園好きも知らない花の魅力。いけばな作品を5つの植物カテゴリーに
分けた展示コーナーです。あなたも『いけばな植物園』に遊びにきませんか？

バラ科

アヤメ科

蘭

観葉植物

東北の花